



ほん ごう しょう  
**本 郷 小**

学校だより  
 第 21 号  
 R4.3.22  
 発行者  
 校長 藤田雅也



令和3年度、修了式

3月22日(火)、令和3年度の修了式が行われました。1年生：32名、2年生：36名、3年生：37名、4年生：46名、5年生：34名が、それぞれの学年の課程を修了し、一つ上の学年に進級します。式では、5年生の木野和輝くんに、代表として修了証書が授与されました。

式 辞

校庭にほぐれただけ積もった雪もすっかり消え、木の芽がほころぶ春になりました。日増しに、日差しにも暖かさが感じられ、春の訪れを実感することができません。一年生から五年生までの一八五名の皆さん、それぞれの学年の修了、おめでとう。四月からは一つ学年が進みます。二年生は二年生になります。新しい一年生が入ってきて、お兄さんお姉さんになります。やさしく教えてあげてくださいね。中学年の仲間入りで、理科や社会、総合的な学習の時間、外国語活動など新しい学習が始まります。がんばってくださいね。三年生は四年生になります。クラブ活動がはじまります。委員会活動にも参加します。本郷小学校をよりよい学校にするために、高学年に協力してくださいね。四年生は五年生です。高学年になります。これまで以上に責任ある行動が求められます。六年生を支え、学校の中心となって活動する場面も出てきます。新しい家庭科の学習も楽しみますね。そして、五年生、小学校最高学年として、本郷小学校の顔になります。皆さんの頑張りが、家庭や地域の皆さんの評価になります。「本郷小学校は、すばらしい学校です。」と言われたときは、実は、「素晴らしい学校です。」と言われたときは、それと一緒に、やればやっただけ褒められる、それが六年生です。楽しみますね。明日、六年生が卒業しますが、これまで築いてきた伝統を受け継ぎ、さらに素晴らしい本郷小学校の歴史を付け加えていきます。令和四年度は、本郷小学校の十周年を迎えます。本郷一小と二小が統合して、現在の学校になって十年目です。大きな節目を迎えます。地域のみならず、みなさんの頑張りによる大きな期待を持っています。力一杯答えていきます。皆さんならできます。コロナ禍の中、様々な制限があり、窮屈な思いをすることがたくさんありました。みなさんは、よく我慢しましたね。令和四年度も、すぐには、コロナ前の学校生活にはもどれないと思います。しかし、今できることに一生懸命に取り組むこと、工夫して活動することはできます。新しい学年での、皆さんがさらに大きく成長することを期待しています。

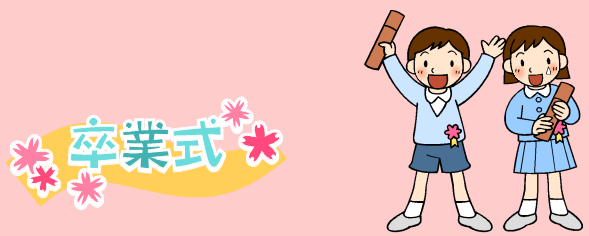
令和四年三月二十二日  
 会津美里町立本郷小学校長 藤田雅也



明日は、卒業証書授与式です。式に参加するのは卒業生とその保護者、在校生を代表して5年生ですが、その他の学年の子どもたちにも、これまでお世話になった6年生への感謝の思いを持たせて下校させたいと思います。そして、自分たちが本郷小学校を引き継いで、さらによりよい学校になるようにがんばろうという思いを高めていきたいと思います。ご家庭でも、子どもたちを励ましてあげてください。

< 3月23日(水)の主な日程 >

- ～ 8 : 15 在校生 (1～5年生) はいつも通り登校します。
- 8 : 30 卒業生 (6年生) 登校、 ～ 8 : 50 保護者受付 (受付後、体育館へ)
- 9 : 00 1～4年生下校
- 9 : 25 来賓 (教育委員会、PTA会長) 入場
- 9 : 30 卒業証書授与式
- 10 : 30 記念撮影・はなむけの言葉
- 11 : 10 卒業生見送り



# 巣立ちの会(6年生と先生方とのお別れ会)

3月14日(月)6年生と先生方のお別れ会である「巣立ちの会」が行われました。コロナ禍のため、飲食は行わずに、体育館で密にならないように配慮しながら実施しました。卒業式の練習に忙しい中、6年生は先生方への感謝の思いを込めて、温かな会を開いてくれました。まず、実行委員長の押部美鈴さんからの歓迎の言葉がありました。そして、グループ対抗の学校クイズで盛り上がりました。次に、6年生全員で歌のプレゼントがありました。最後に6年生代表の梅宮浩太郎君から、楽しかった6年を振り返るとともに、先生方への感謝の思いを伝える発表がありました。先生方一人一人に、6年生手作りの「刺し子のコースター」がプレゼントされました。(感動!)先生方からも、サプライズの歌のプレゼント(「365日の紙飛行機」)もありました。さらに、今年度ご退職される、伊藤教頭先生と三星敬子先生に、6年生からの卒業証書授与というサプライズが続きました。卒業を前に、6年生も先生方も大変忙しい毎日ですが、心温まる一時を過ごすことができました。



卒業式といえば、昔は「仰げば尊し♪」が定番でしたが、平成に入ってから、「巣立ちの歌」「旅立ちの日に」等、定番曲が変わってきました。今年度の卒業生の曲は、「未来への賛歌」です。時代は変わり、歌われる歌は変わっても、明日への希望と感謝の心が歌われます。子どもたちにとっての大きな節目にふさわしい歌です。人生の応援歌ですね。